

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495400192	事業の開始年月日	平成23年12月1日
		指定年月日	平成23年12月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 たま南		
所在地	(〒214-0036) 川崎市多摩区南生田 4-25-16		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成24年8月21日	評価結果 市町村受理日	平成26年2月10日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

花物語 たま南は、小田急線百合ヶ丘駅から、バスで10分程度に位置する施設で、バス停餅坂より徒歩2分程度に位置する施設です。また閑静な住宅街の中に、ひっそりとたたずみ、地域の中に溶け込んでいます。

平成23年12月1日に認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設施設として開設しました。利用者様が「自分らしく」過ごしていただける施設を目指し、いつまでも、楽しく、笑顔で、生きがいのある生活を送っていただけるよう支援いたします。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年10月24日	評価機関 評価決定日	平成26年1月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 花物語たま南は、小田急小田原線百合ヶ丘駅よりバスで10分、最寄バス停より徒歩2分、なだらかな坂道を少し登った小高い場所にある。新百合ヶ丘駅からも同バス停まで20分のバスが出ている。周辺は戸建て集合住宅が混在する住宅街であるが、菜園や花畑も散在し、バス通りが近くにあるとは思えないほど静かである。木造2階建ての建物は、玄関ホールを隔てて、グループホームと小規模多機能型居宅介護が併設されている。内部は茶色と白を基調とし、生花がふんだんに置かれ、過度な飾り付けはせず、落ち着いた雰囲気である。小規模多機能型居宅介護と共同使用の、車いすが2台ほど入るエレベーターが設置されている。</p> <p>【環境整備と感染症対策の充実】 地域のインフルエンザ、ノロウイルスなどの発生情報に気を配り、必要に応じ来訪者も含め、うがい、手洗い、マスクの着用などを徹底している。また来客者用のマスクも玄関に準備している。皮膚疾患、疥癬などの予防のため、風呂の湯は利用者ごとに毎週とり替え、浴槽の消毒をしている。室内も、掃除が行き届き、定期的に薬剤による消毒を実施している。1日3回、温度と湿度を測定し、加湿器、空気清浄機を使用して、環境整備を図っている。</p> <p>【地域との交流の推進】 開設から2年目であるが、地域住民から、野菜や草花などの差し入れがある。また散歩の際など、利用者、職員がすれ違う人達と、気楽に挨拶を交わす関係を築いている。町内会に加入し、盆踊り大会などに参加すると共に、事業所が主催する10mにも及ぶ流しそうめん大会や夏祭りには、地域住民を招くなど、双方向の地域交流を行っている。また法人の協力を得て、2ヶ月に1回、健康祭り（体力測定、健康チェック）を開催しており、地域の定例行事になっている。管理者は、良好な地域との関係をさらに推し進め、子供たちとの定期交流を図るなど、新たな企画に取り組みたいとしている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 たま南
ユニット名	1F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設理念を念頭に置き、入居者様・ご家族様・地域の方々との連携のもと、明るく笑顔あふれるよう、安心して生活できるよう、愛情が感じていただけるように、施設が入居者様の居場所と感じていただけるよう日々の介護を行なっています。また、ケアの方向性を決めるケアカンファレンスや、全体会議の中で都度、施設理念の共有を図るように職員間へ周知しています。	事業所の有り方を「明るく・安心して・愛情ある」の3つのAに託した理念を掲げ、職員は利用者の地域生活の継続支援を図っている。管理者は全体会議、申し送りなど、折にふれ理念について述べ、職員間の共有を図っている。問題に直面したときは、常に理念に立ち戻り、解決を図っている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近所の神社にて盆踊り大会や、近隣地区の盆踊り大会に入居者全員参加しています。散歩の時には、近隣の方にご挨拶を心がけ、近隣の方からも声をかけて頂いたり、お花をくださることもあります。	町内会に加入し、盆踊りなどの行事に参加している。事業所の流しそうめん大会や夏祭りに、地域住民を招いている。ケーナ演奏、児童コーラスなど、ボランティアが来訪している。近隣小学校の児童が遊びに来ることもある。	管理者は、良好な地域住民との関係をさらに推し進め、子供たちと利用者との交流を深めるなど、新たな企画に意欲を示しています。今後の取り組みに期待します。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の見学会や説明会を開催し、近隣の方々を招いて施設の説明と同時に、認知症や介護保険についても説明をしています。また、近隣の盆踊り大会などに参加し、地域の方に認知症の人と触れ合いの機会も持っていただくと共に、認知症の人でもできる事を理解していただくよう努めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でいただいた意見をもとに、災害時速報に対するマニュアルを作成致しました。また、参加した入居者様からもご意見をいただき話し合いを行っています。	2ヶ月に1回開催している。事業所の活動、事故報告のほか、地域の防災対策などについて話し合っている。外部評価についても、この場で報告、討議されている。	行政や、これに代わる、地域包括支援センター職員の欠席が見受けられます。引き続き交渉し、出席を得ることを期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	多摩区近隣の地域包括支援センターや、多摩区の高齢者支援課へ定期的に訪問し、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしたり、相談に乗っていただいたりアドバイスをいただいています。	運営推進会議議事録を持参し、区の担当者と連携を深めている。「多摩区グループホーム意見交換会」に参加し、支援困難事例などについて意見交換している。市の介護関連研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている入居者様はいらっしゃいませんが、必要に応じて家族を含め話し合いを行っています。また、施設玄関については防犯上施錠されていますが、入居者様のご希望に応じて職員と共に外出していただいています。	利用契約書に身体拘束は行わないことを明記し実践している。「身体拘束ゼロの手引き」を基に事例検討を交えた研修を実施している。2階ユニット出入口、玄関は施錠しているが、利用者が外出したいそぶりを見せた時は、職員が付き添い外に出ている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で、事例検討を含め、どのような場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つように心がけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で権利擁護や後見制度について話し合っています。また、ご家族様からの要望で成年後見の手続きのお手伝いをしたり地域包括支援センターへご相談に伺ったりしています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、話し合いを多く持ち、お互い納得の上でご入居いただいています。特に、終末期ケアや、医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には、対応方法の具体的な事例を挙げ、ご家族のご意向として、ケアに反映しています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の面談や、随時の電話連絡により、家族の意見を取り入れるよう努めています。日々の利用者との関わりや家族との相談の中で、食事に関すること等の要望があり、運営推進会議の議場にて話し合い、食事メニューの変更などを随時取り入れています。	家族の来訪時に意見、要望を聴取している。そうめん流し大会、夏祭りなどの事業所行事の折に、要望を聞いている。介護計画書見直しの際は、サービス担当者会議に家族が参加している。家族の要望により、地域交流、外気浴ができるよう玄関前のスペースにテーブル、椅子を設置した。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社全体の運営会議やスタッフ会、社員会を通じて意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。日々のケアやカンファの中で、意見の検討を行いながら、随時取り入れています。	全体会議やフロア会議などで、要望、意見を聴取している。管理者は、日頃から気楽に相談できる雰囲気作りをし、意見、提案を聞いている。「たまみ新聞」の発行、スタッフルームへのソファの設置、パン食の採用などが、職員の意見で実行されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望等、契約条件などを考慮し、雇い入れを取り交わしています。意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらおうよう、伝えています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけている。また、法人内の、開設前のグループホーム就業者を、実習生として迎え、お互いの気づきを勉強しました。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村等からの研修等や他施設見学に参加する事により、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。また、他事業所との職員間の交流も行っており、サービスの向上についても話し合いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご家族やご本人に要望や不安ごとを聞き、利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような関係性を持つようにしています。ご本人からの要望に対しては傾聴し、ケアに反映させるよう努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人ご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。例としては、入居者の小遣い持参について、ご家族から要望があり、小さな金額に収めていただくこと、ご家族が管理していただくこと、来設時に確認すること、そのお金は使用しないこと、紛失の可能性もあるという説明をしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の度合いや、おかれている環境を把握し、入居者と家族の物理的精神的環境を考慮し、GHが適切かどうかも考慮し、サービスにつなげています。場合によっては、小規模多機能型居宅介護や、他事業などへの紹介も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意思を第一に尊重し、本人のADLや意欲に沿った方法で、職員や他利用者と共に行うことで完成し、仕事ができる喜びを分かち合い、他者と協力しながら生活できるように努めています。		

19	<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常にご家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけています。帰宅願望の強い方への対応については、声掛けの仕方をご家族に助言を頂いています。また生活歴の情報収集を行い、それをもとに職員間でも相談し、ケアに反映させています。必要時にはご本人の要望に応じ、写真を持参してもらっています。</p>		
----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に使用していた美容院や、以前からのお知り合いの方また、遠方の親類の方々が訪れたりされ、関係性の継続を図っています。また入居前から恒例行事にしている家族旅行への参加も継続的にできるように支援しています。健康状態・身体機能の低下予防の為に、定期的に施設周辺散歩や体操などを行い、ご家族との外出の機会が継続できるよう努めています。	友人の来訪の際は、居室にお茶だしなどして、ゆっくり過ごしてもらっている。親戚、友人から届け物があった時は、職員が間に入り、お礼の電話をしている。昔のアルバムや孫の写真を家族に持参してもらい、家族関係継続の支援をしている。また家族との外出を積極的に働きかけ、馴染みの人や場所との継続支援を図っている。定期的に家族旅行に行く利用者もいる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会や季節の行事、盆踊り大会等、入居者同士の親睦を深めるため合同で行っています。また、良好な関係にある1Fの入居者と2Fの入居者との交流も心がけています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族を通じて、他事業者への情報提供等、支援を行っていきます。入院の際のお見舞いや手紙の発信などにより良い関係性が継続できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々のケアの中でアセスメントを行い、申し送りやカンファにて、意向や希望の把握を随時行っています。ご本人の要望にあわせ、食事内容を変更したり、お散歩のお手伝いをさせていただくなど、個人の自立性を大切にしたケアを行っています。</p>	<p>日常会話の中から利用者の意向の把握に努めている。「カレーライスを食べたい」などの具体的要望に対しては、カレールーを使用して、当日の食材をアレンジするなど、できる限り意向に沿うように努めている。意向を表すことが困難な利用者については、手振り、身振り、表情から読み取るなど意向の把握に努めている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や生け花等の趣味等が継続できるよう、利用に至る敬意や生活環境なども職員間で共有し、今までの生活習慣が継続できるような支援に努めています。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っており、職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>担当者会議や日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切に、面会時家族や担当者会議にて職員からの情報を多く得て、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。</p>	<p>通常6ヶ月ごとにアセスメントを取り直し、介護計画の見直しを実施している。状態に変化が生じた場合は都度の見直しを実施している。月ごとのモニタリング、日々の介護記録、医療情報、家族の希望を反映した介護計画書としている。サービス担当者会議は、家族も参加している。個人記録のフロントページに介護計画書の課題ページを綴じ込み、日々の記録は、課題と関連付けて記載している。</p>	

27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録に、時間ごとのご様子や、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。</p>		
----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活暦等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援してい	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得て、この夏も盆踊り大会に参加しています。地域活動への参加等を通して、心身の力を発揮し豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期往診を受けていただいています。心身状態について家族や主治医と常に連携を取り、本人が適切な医療を受けられるよう支援しています。また必要時には、主治医の指示を頂き、外部受診の支援をしています。	現在は利用者全員が協力病院の内科医を主治医としている。同医師による訪問診療が月2回実施されているほか、必要に応じて大学病院などの専門医への紹介も行われている。同病院看護師とは24時間連絡が取れる体制がある。法人看護師が週2回配置されている。訪問歯科医は週1回来訪している。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談を行い、個人記録に記入など、情報の共有を行い、適切な受診や看護につなげています。また、看護師による介護職員への指導も行っており、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のお見舞いや家族との連絡を取ることで、本人の状態を把握するよう努めています。また退院にあたっては、ご家族、病院関係者の方と話し合いを持ち、ケアの方向性、リスク等を説明しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針について入居時に説明し同意を交わし、家族の意向を確認しています。病気発見時は家族の協力を得る為早い段階より十分に話し合い、主治医との連携をとり支援に取り組んでいます。また、その方にあった急変時対応マニュアルを作成し、職員間で共有しています。どのような状態の時を悪化とするのかを明記し、職員に周知しています。</p>	<p>入居契約時に利用者と家族に、重度化した場合の事業所の対応し得る範囲について説明し「利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針」を取り交わし、方針を共有している。ターミナルケアの職員研修も事例を交え、行われている。重度化への対応が必要となった場合は、協力医の意見を基に、利用者、家族本位に、段階的に関係者で対応を検討するとしている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告、状況等事例や対策をたて、職員全員が対応できるように努めている。また、不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。</p>	/	/
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に川崎市多摩消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。</p>	<p>消防署、地域住民の協力の下、年2回の防災訓練を実施している。また、夜間想定訓練も実施している。非常食、飲料水などの備蓄がある。業者による防災設備の点検が、年4回実施されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。たとえば、不穏状態が続いたとしても、その方の生活暦や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしています。着脱や靴の脱ぎ履きの順番もご本人を尊重し、ご本人の順番に合わせて介助を行う工夫をしています。	個々の利用者が感じる心地よい声かけを見出し、時には利用者の子供や孫の気持ちで、接している。トイレ誘導、排泄介助、失禁処理の時は、特に言葉づかいに配慮し、対応している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不快感や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、普段の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、配膳の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、散歩をしたいのか、又は、のんびりと過ごしたいのか、聞いてから、行動を共にしています。就寝時間も体調等を考慮し、時間だから寝ていただく等はしておりません。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの入居者が自分で衣服を選んでいきます。季節やTPOに合った身だしなみができるよう職員からの声掛けも行っています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの好みやできる力を把握し、入居者に確認しながら、調理をする人、片づけをする人を決め、職員と一緒に、準備や調理を行っています。	利用者はテーブル拭き、盛り付け、配膳、下膳など出来る範囲で手伝っている。包丁を使って調理をする利用者もいる。職員1名が検食を兼ね、利用者と同じテーブルに付き、同じものを食べている。寿司の出前、外食、行食事、誕生日のケーキ作りなども利用者の楽しみになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせたご飯の量を盛り付けたり、適切な飲水量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。水分摂取量や食事摂取量は記録に残し、一日の総水分摂取量に応じて、ご本人の嗜好に合わせた飲み物などを提供しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守りや、必要に応じて、介助を行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。	排泄チェック表でパターンを把握し、トイレ誘導を行っている。夜間も昼間と同様にトイレでの排泄を基本とし、誘導している。夜間オムツを使用せざるを得ない利用者は、2~3時間ごとにその方の状況に合わせてチェックし、清潔保持に努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努めています。また、随時体操を取り入れたり、必要な飲水量の確保、おやつ（ヨーグルトや寒天使用）にて排便コントロールの支援を行っています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の意志を尊重し体の状態も考慮し、気分良く入る声掛を工夫しています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛や誘導をしています。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。	入浴は原則として週2回、午前の時間帯で実施しているが、回数、時間帯は希望により柔軟に対応している。毎回16時ごろに入浴する利用者もいる。入浴を好まない利用者には、無理強いせず、時間や声かけする職員を変えて、入浴を促している。日曜日を予備日としている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各入居者様が、自由に居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、その時の状態観察を行ったり、ご本人に聞いてから、休息の支援を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の活動も考慮し支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は特に配慮をし、症状の変化や経過などは主治医へ必ず報告し、連携に努めています。また、看護師が記載した往診記録の確認、又は、個人記録に添付してある薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つ事で生活に張り合いを感じて過ごせるよう支援に努めています。台所仕事が好きなお方には、調理や片付け、テーブル拭き等を職員と一緒にしており、職員から常に感謝の言葉をお伝えしています。また、手先の器用さに応じ、折り紙や箱作りを実践し、職員や他利用者から感謝されることにより、喜んでいただいています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り外出を支援しています。地域の盆踊りにも参加することができました。また、お盆の時に墓参りに家族と共に出かけた方が数人います。また、日常的な買い物で、歩きや車にて、近所のお店に買い物に出かけています。	可能な利用者は週3、4回散歩や買物に出かけている。玄関前の椅子で外気浴や足湯を楽しんでいる。初詣、お花見、バラ園見学、紅葉散策などの外出行事を楽しんでいる。また家族の協力を得て、外出の機会をつくっている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は主に事務所で行っており、使った額を請求させていただき立替制度を取っています。ご希望に応じ、家族管理の下、小額のお金を所持できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいたいという訴えがあった時には、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。また、手紙のやり取りができるよう支援し、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各共有の空間に、購入や散歩にて近隣の方からいただいた花を飾っています。一日、10時、15時、22時に温度、湿度を測り、居室にて過ごしている方の状態確認も行っています。また、玄関にはご家族の了承のもと、入居者の写真を飾り、フロアの壁には入居者様の作品等を飾り、入居者様とご家族や来訪者との会話にもつながっています。	玄関前廊下のウォールポケットに行事の写真を入れ掲示し、家族、利用者を持ち帰ってもらっている。玄関やフロアの洗面台などに、生花をふんだんに飾り、季節感を演出している。リビングルームは、茶色と白を基調とし、落ち着いた雰囲気である。また高さ調節の出来るテーブルが配置されている。掃除が行き届き、加湿器、空気清浄機を使用して、環境整備を図っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	他のユニット同士でも、気の合う入居者のところへ、遊びに行き、気分転換を図っています。入居者各々が、自由に居室やフロアへの移動を行っています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ちいただき、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活できるよう、ご家族と一緒に工夫をする配慮をしています。	馴染みのものを持ち込み、利用者と家族が自由にレイアウトし、居心地良く暮らせる空間としている。床に絨毯を敷いている利用者もいる。洗面台が設置されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内設置の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみ等自分でできるよう、個別性を重視した環境を目指し自立した生活が送れるよう支援しています。その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。		

事業所名	花物語 たま南
ユニット名	2F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>施設理念を念頭に置き、入居者様・ご家族様・地域の方々との連携のもと、明るく笑顔あふれるよう、安心して生活できるよう、愛情が感じていただけるように、施設が入居者様の居場所と感じていただけるよう日々の介護を行なっています。また、ケアの方向性を決めるケアカンファレンスや、全体会議の中で都度、施設理念の共有を図るよう職員間へ周知しています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入し、近所の神社にて盆踊り大会や、近隣地区の盆踊り大会に入居者全員参加しています。散歩の時には、近隣の方にご挨拶を心がけ、近隣の方からも声をかけて頂いたり、お花をくださることもあります。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>施設の見学会や説明会を開催し、近隣の方々を招いて施設の説明と同時に、認知症や介護保険についても説明をしています。また、近隣の盆踊り大会などに参加し、地域の方に認知症の人と触れ合いの機会も持っていただくと共に、認知症の人でもできる事を理解していただくよう努めています。</p>		

4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議でいただいた意見をもとに、災害時速報に対するマニュアルを作成致しました。また、参加した入居者様からもご意見をいただき話し合いを行っています。</p>		
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>多摩区近隣の地域包括支援センターや、多摩区の高齢者支援課へ定期的に訪問し、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしたり、相談に乗っていただいたりアドバイスをいただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている入居者様はいらっしゃいませんが、必要に応じて家族を含め話し合いを行っています。また、施設玄関については防犯上施錠されていますが、入居者様のご希望に応じて職員と共に外出していただいています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で、事例検討を含め、どういった場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つように心がけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で権利擁護や後見制度について話し合っています。また、ご家族様からの要望で成年後見の手続きのお手伝いをしたり地域包括支援センターへご相談に伺ったりしています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、話し合いを多く持ち、お互い納得の上でご入居いただいています。特に、終末期ケアや、医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には、対応方法の具体的な事例を挙げ、ご家族のご意向として、ケアに反映しています。		

10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の面談や、随時の電話連絡により、家族の意見を取り入れるよう努めています。日々の利用者との関わりや家族との相談の中で、食事に関すること等の要望があり、運営推進会議の議場にて話し合い、食事メニューの変更などを随時取り入れています。		
----	---	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社全体の運営会議やスタッフ会、社員会を通じて意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。日々のケアやカンファの中で、意見の検討を行いながら、随時取り入れています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望等、契約条件などを考慮し、雇い入れを取り交わしています。意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらおう、伝えています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけている。また、法人内の、開設前のグループホーム就業者を、実習生として迎え、お互いの気づきを勉強しました。		

14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市町村等からの研修等や他施設見学に参加する事により、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。また、他事業所との職員間の交流も行っており、サービスの向上についても話し合いをしています。</p>		
----	--	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に、ご家族やご本人に要望や不安ごとを聞き、利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような関係性を持つようにしている。ご本人からの要望に対しては傾聴し、ケアに反映させるよう努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人ご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。例としては、入居者の小遣い持参について、ご家族から要望があり、小さな金額に収めていただくこと、ご家族が管理していただくこと、来設時に確認すること、そのお金は使用しないこと、紛失の可能性もあるという説明をしています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>認知症の度合いや、おかれている環境を把握し、入居者と家族の物理的精神的環境を考慮し、GHが適切かどうかを考慮し、サービスにつなげています。場合によっては、小規模多機能型居宅介護や、他事業などへの紹介も行っています。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の意思を第一に尊重し、本人のADLや意欲に沿った方法で、職員や他利用者と共に行うことで完成し、仕事ができる喜びを分かち合い、他者と協力し合ながら生活できるように努めています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常にご家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけています。帰宅願望の強い方への対応については、声掛けの仕方をご家族に助言を頂いています。また生活歴の情報収集を行い、それをもとに職員間でも相談し、ケアに反映させています。必要時にはご本人の要望に応じ、写真を持参してもらっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に使用していた美容院や、以前からのお知り合いの方また、遠方の親類の方々が訪れたりされ、関係性の継続を図っています。また入居前から恒例行事にしている家族旅行への参加も継続的に行えるように支援しています。健康状態・身体機能の低下予防の為に、定期的に施設周辺散歩や体操などを行い、ご家族との外出の機会が継続できるよう努めています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会や季節の行事、盆踊り大会等、入居者同士の親睦を深めるため合同で行っています。また、良好な関係にある1Fの入居者と2Fの入居者との交流も心がけています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族を通じて、他事業者への情報提供等、支援を行っていきます。入院の際のお見舞いや手紙の発信などにより良い関係性が継続できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々のケアの中でアセスメントを行い、申し送りやカンファにて、意向や希望の把握を随時行っています。ご本人の要望にあわせ、食事内容を変更したり、お散歩のお手伝いをさせていただくなど、個人の自立性を大切にしたケアを行っています。</p>		
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や生け花等の趣味等が継続できるよう、利用に至る敬意や生活環境なども職員間で共有し、これまでの生活習慣が継続できるような支援に努めています。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っており、職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかり把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>担当者会議や日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、面会時家族や担当者会議にて職員からの情報を多く得て、</p>		

			介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、時間ごとのご様子や、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活暦等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得て、この夏も盆踊り大会に参加しています。地域活動への参加等を通して、心身の力を発揮し豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期往診を受けていただいています。心身状態について家族や主治医と常に連携を取り、本人が適切な医療を受けられるよう支援しています。また必要時には、主治医の指示を頂き、外部受診の支援をしています。		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談を行い、個人記録に記入など、情報の共有を行い、適切な受診や看護につなげています。また、看護師による介護職員への指導も行っており、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。		

32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中のお見舞いや家族との連絡を取ることで、本人の状態を把握するよう努めています。また退院にあたっては、ご家族、病院関係者の方と話し合いを持ち、ケアの方向性、リスク等を説明しています。</p>		
----	--	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針について入居時に説明し同意を交わし、家族の意向を確認しています。病気発見時は家族の協力を得る為早い段階より十分に話し合い、主治医との連携をとり支援に取り組んでいます。また、その方にあった急変時対応マニュアルを作成し、職員間で共有しています。どのような状態の時を悪化とするのかを明記し、職員に周知しています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告、状況等事例や対策をたて、職員全員が対応できるように努めている。また、不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に川崎市多摩消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。たとえ、不穏状態が続いたとしても、その方の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしています。着脱や靴の脱ぎ履きの順番もご本人を尊重し、ご本人の順番に合わせて介助を行う工夫をしています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不快感や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、普段の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、配膳の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、散歩をしたいのか、又は、のんびりと過ごしたいのか、聞いてから、行動を共に行っています。終身時間も体調等を考慮し、時間だから寝ていただく等はしておりません。		

39		<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの入居者が自分で衣服を選んでいきます。季節やTPOに合った身だしなみができるよう職員からの声掛けも行っています。</p>		
40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者一人ひとりの好みやできる力を把握し、入居者に確認しながら、調理をする人、片づけをする人を決め、職員と一緒に、準備や調理を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせたご飯の量を盛り付けたり、適切な飲水量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。水分摂取量や食事摂取量は記録に残し、一日の総水分摂取量に応じて、ご本人の嗜好に合わせた飲み物などを提供しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守りや、必要に応じて、介助を行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努めています。また、随時体操を取り入れたり、必要な飲水量の確保、おやつ工夫（ヨーグルトや寒天使用）にて排便コントロールの支援を行っています。		

45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の意志を尊重し体の状態も考慮し、気分良く入る声掛を工夫しています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛や誘導をしています。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。		
----	----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各入居者様が、自由に居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、その時の状態観察を行ったり、ご本人に聞いてから、休息の支援を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の活動も考慮し支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は特に配慮をし、症状の変化や経過などは主治医へ必ず報告し、連携に努めています。また、看護師が記載した往診記録の確認、又は、個人記録に添付してある薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つ事で生活に張り合いを感じて過ごせるよう支援に努めています。台所仕事が好きな方には、調理や片付け、テーブル拭き等を職員と一緒にこなっており、職員から常に感謝の言葉をお伝えしています。また、手先の器用さに応じ、折り紙や箱作りを実践し、職員や他利用者から感謝されることにより、喜んでいただいています。		

49	18	<p>日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>可能な限り外出を支援しています。地域の盆踊りにも参加することができました。また、お盆の時に墓参りに家族と共に出かけた方が数人います。また、日常的な買い物で、歩きや車にて、近所のお店に買い物に出かけています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は主に事務所で行っており、使った額を請求させていただき立替制度を取っています。ご希望に応じ、家族管理の下、小額のお金を所持できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいという訴えがあった時には、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。また、手紙のやり取りができるよう支援し、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各共有の空間に、購入や散歩にて近隣の方からいただいた花を飾っています。一日、10時、15時、22時に温度、湿度を測り、居室にて過ごしている方の状態確認も行っています。また、玄関にはご家族の了承のもと、入居者様の写真を飾り、フロアの壁には入居者様の作品等を飾り、入居者様とご家族や来訪者との会話にもつながっています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	他ユニット同士でも、気の合う入居者のところへ、遊びに行き、気分転換を図っています。入居者各々が、自由に居室やフロアへの移動を行っています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ちいただき、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活できるよう、ご家族と一緒に工夫をする配慮をしています。		

55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室内設置の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみ等自分でできるよう、個別性を重視した環境を目指し自立した生活が送れるよう支援しています。その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。</p>		
----	--	--	--	--	--

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 尾南グループホーム

作成日 _____

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営協議会において、地域包括支援センターや、行政の職員への参加が少ない。	毎回の運営協議会において、行政や地域包括支援センターの職員に参加して頂く。	地域包括支援センターには、再度交渉を行い、行政には、事前に連絡をし、出席して頂くよう調整して頂く。	17月～27月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。